

障害者週間 12月3日～9日

おおた みんなのつどい プロジェクト

<p>SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS</p>	<p>3 すべての人に健康と福祉を</p>	<p>11 住み続けられるまちづくりを</p>	<p>大田区は、SDGs 未来都市自治体 SDGs モデル事業にふさわしい、持続可能な取り組みを行っています。</p>
--------------------------------------	-----------------------	-------------------------	---

しょう ひと ひと
障がいのある人もない人も
え がお ち いき かつ どう ほう こく しょ
笑顔になる地域活動報告書



はじめに

大田区しょうがい者の日のつどいは、昭和56年に第1回を開催し、毎年開催してきました。

令和2年度は、コロナ禍の中、第40回を映像形式で開催しました。令和3年度には、開催形式を検討し、令和4年度から「[おおた みんなのつどいプロジェクト](#)」として新しい形で、障がい理解啓発事業に取り組んでいます。

この報告書は、「おおた みんなのつどいプロジェクト表彰」を受賞された「障がいのある人もない人も笑顔になる地域活動」を冊子にまとめたものです。

こうした活動が広がり、一人ひとりに心のバリア(障壁)のない社会をめざしてまいりましょう。

おおた みんなのつどいプロジェクト実行委員会

……………目 次……………

笑顔大賞

- 障がい者福祉施設の商品(自主生産品)販売への協力 P 2
- 「小さな村g7商品」委託販売・販売機会の提供・受注作業提供等 P 4
- バルーンアートで笑顔に ～南六郷福祉園 新年会～ P 6
- 大田区非公認キャラクター 大根ちゃま P 8
大田区立志茂田福祉センター 訪問
- 夏休み自由研究 ～ユニバーサルデザイン調査隊～ P 11
- まごめ幸陽祭への協力 ～和太鼓演奏～ P 17
- とともに楽しむボランティア活動 P 19
～いきいき祭り(うめのき園) ふれあい祭り(しいのき園)～
- JAL スカイ ～スカーフの加工プロジェクト～ P 22
- 「おおむすび」の周知・自主生産品の購入・販売会実施への協力 P 24

にっこり大賞

- ペアダンス ～社会参加と健康推進～ P 26
- みんなで楽しく 合唱サークル P 29
- 聴覚障がいの理解啓発活動 P 31
- 手遊びの会 ～地域の居場所づくり～ P 33

【参考資料】

- 「おおむすび」障がい者福祉施設の商品 P 35
- 「エスカレータ歩かないで 安心・安全」 P 36
- おおた みんなのつどいプロジェクト表彰実施要綱 P 37

障がい者福祉施設の 商品(自主生産品)販売への協力

1 活動団体	
	ザ・リバープレイス自治会
2 取組の内容	
	<p>大田区下丸子のザ・リバープレイス(マンション)における販売会とマンション内のカフェで常設販売を実施しています。</p> <p>(1) 「おおむすび縁市場」の販売会 令和4年度 2回、令和5年度 2回</p> <p>(2) カフェ内での常設販売 居住者限定利用のカフェ内での常設販売</p>
3 活動を通して	
	<p>おおむすび連絡会からのメッセージ</p> <p>◇ ザ・リバープレイス居住者に「おおむすびファン」の方がいらっしゃり、販売会の開催のお話をいただきました。自治会の皆さまのご協力もあり「おおむすび縁市場」販売会が実現し、現在も継続して実施していただいています。</p> <p>◇ 居住者の方だけでなく、近隣の方にもおおむすびを PR する機会になっています。</p> <p>ザ・リバープレイスからのメッセージ</p> <p>◇ ザ・リバープレイス恒例イベント『リバプレの日』 エントランスでは、いつも『おおむすび』さんの商品をずらりと並べて来場者をむかえます。障がいのある人もない人も笑顔になり、やがて、障がいがあるかないかなんて気にしないでいられる社会になるよう、これからも手を携えていきたいです。</p> 
4 実行委員会からの応援メッセージ	
	<p>○ 地域の自治会の皆さんに参加、協力いただくことは大きな力になります。一緒に「みんなにやさしいまち」をつくっていきましょう。</p> <p>○ 「おおむすびファン」の方から広がったご縁、素敵です。こんな形で色々な場所に広がってほしいと思います。</p> <p>○ 自治会内で常設販売が盛り上り、今後も継続することを期待しています。</p> <p>○ マンションの自治会が行う理解啓発活動は、マンションと言うミクロな場からマクロな場へとつながる活動と感じ、とても素敵な活動だと思いました。</p>

■ ザ・リバープレイスでの販売

おいしいもの、楽しいこと、
今、そして、いつか役に立つこと。たくさん用意してお待ちしています！

<p>プレイスモール(外)</p> <p>【カフェ側のデッキ】 おおむすび販売会</p> <p>【防災センター側のデッキ】 一期JAMさんの“子ども食堂” with 海maruko食堂 and とんかつカンティーン ゆめみるこぶた</p>	<p>すすかけの並木道</p> <p>大好きなお店、 近くなるお店が盛りだくさん！ 下丸子グルメ</p> <p>下丸子 一休 栗楽園 たごやき 庵 チキ南酒場 いっぶく 天麩羅専門店 満天 豊田屋 hatome Beステーション凜 (社会福祉法人 睦月会) ピッツェリア トラットリア マルコ (五十音順、敬称略)</p> <p>リバプレグッズ販売</p> <p>本部(お問合せ、各種受付)</p>	<p>リバーテラス</p> <p>10:00~ 本物そっくりの選挙！ (模擬選挙)</p> <p>フォトギャラリー 「川柳 de リバプレ愛」 川柳大会作品展示</p> <p>災害時設備デモンストレーション (照明、発電機)</p>	<p>リバーコート前通路</p> <p>11:00~13:00 車いす アイマスク&白杖 体験コーナー</p> <p>11:00~13:00 フードドライブ受付</p> <p>太陽の館</p> <p>10:30~12:30 フリーマーケット</p> <p>12:00~14:00 不用品交換会</p> <p>10:30~11:30 体操教室</p>
<p>プレイスモール(中)</p> <p>【1階 第2集会所】 10:00~15:00 BOOK OFF出張買取</p> <p>【2階 第1集会所】 忘れ物・落とし物展示 リフォーム相談会 バルーンアート体験</p>	<p>センターコート前 ピアノスクエア</p> <p>10:00~15:00 ストリートピアノ</p>	<p>小鳥の巣箱作り ワークショップ (受付：本部)</p>	<p>防災ツアー (受付：本部)</p>

新型コロナウイルス感染拡大防止対策へのご協力ありがとうございます。
ゴミはお持ち帰りくださいますようお願いいたします。



笑顔大賞

「小さな村g7商品」委託販売 販売機会の提供・受注作業提供等

1 活動団体

特定非営利活動法人 小さな村総合研究所

2 取組の内容

小さな村総合研究所が扱っている7つの村の農産物の加工品を大田区の福祉施設が販売するという新しい農福連携(大田区版農福連携)の形を進めています。

(1) おおむすび縁市場等での委託販売

おおむすび商品と重複しない「小さな村g7商品」をおおむすび縁市場等で販売していただき手数料を支払います。



©大田区

(2) 小さな村総合研究所からの新たな販売機会の提供

◇令和4年度

「こどもデパート」 アイデアコンテスト実施	会場 グランデュオ蒲田 東西連絡通路
--------------------------	-----------------------

◇令和5年度

農福連携 小さな村総合研究所 東京オフィス×おおむすび連絡会	会場 グランデュオ蒲田 東館2F
-----------------------------------	---------------------

(3) 【新企画】

「小さな村g7商品」の受注宅配等の受注作業の企画

【小さな村総合研究所とは】

小さな村総合研究所は、人口 519 人の関東一小さな村、山梨県丹波山村にある特定非営利活動法人です。北海道から九州まで各地域で一番小さな7つの村が連携する「小さな村g7サミット」をきっかけに誕生しました。

3 活動を通して

おおむすび連絡会からのメッセージ

- ◇ 販売会でのお客様の買い物の幅が広がっています。
- ◇ 「小さな村g7」のお客様が、大田区の福祉の商品と出会い、新たなファンとなっています。
- ◇ 新たなビジネスモデルを構築できたことは、おおむすびにとって、大きな収穫となっています。
- ◇ 「小さな村g7」の新規商品等を取扱予定です。

小さな村総合研究所からのメッセージ

- ◇ 山梨県丹波山村をはじめ全国7つの小さな村と連携し、都内での情報発信や特産品販売から小さな村と都市との協働や相互補完につながる取組みをめざしてきました。福祉との協働はまさに「目からウロコ」。地方の「農」と都市部の「福祉」というかなりユニークな「農福連携」であり大きな可能性を感じています。いろんな人を笑顔にしたという「笑顔大賞」をいただけたことは大変嬉しく思います。

4 実行委員会からの応援メッセージ

- 仕事は大事な社会参加のひとつです。いつもありがとうございます。
- 農福連携(大田区版農福連携)という新たなビジネスモデルの今後の成果を期待しています。
- おおむすびの商品を使用した新たなビジネスモデルは、共生社会の先端的な試みとして、素敵なことだと感じました。
- 様々な地域との繋がりのなかで、障がい理解の更なる広がり期待しています。

■ イベントのポスター

■ 小さな村総合研究所の商品 OTA ふれあいフェスタにて



バルーンアートで笑顔に ～南六郷福祉園 新年会～

1 活動団体

守安 佳秋(日直)



2 取組の内容

令和5年1月20日(金)

大田区社会福祉協議会の特技ボランティアとして登録しています。

南六郷福祉園には、大田区社会福祉協議会からの紹介で「新年を祝う会」において、バルーンアートを披露しました。

利用者は、何ができるかみんな興味津々で見守ってくれました。出来上がったバルーンアートは、鏡餅！会場は、利用者たちの笑顔に包まれました。

障がい者施設に限らず色々な施設のイベントに足を運び、バルーンアートの特技で、みなさんを笑顔にしています。



■ 新年会の様子



■ OTA ふれあいフェスタプロジェクトと社協のあいちゃん

3 活動を通して

守安さんからのメッセージ

バルーンアートと出会ってから約9年です。観ても作っても楽しいバルーンアート。障がい者施設などで皆さまの笑顔に接し、私も元気いっぱい。障がいがあっても、なくとも、お子様からご年配の方まで誰でも参加できるバルーンアートをこれからもお届けしたいです。

- ◇ 作品は、インスタグラム @nitchoku でご覧ください。
- ◇ ボランティアの紹介は、大田区社会福祉協議会
おおた地域共生ボランティアセンター 03-3736-5555



大田区立南六郷福祉園からのメッセージ

- ◇ コロナ禍でイベントなどに参加できない状況の中、楽しいバルーンアートを披露していただき、利用者の笑顔があふれ、とても楽しく盛り上がった新年会になりました。

大田区社会福祉協議会からのメッセージ

- ◇ 障がいのある方やお子様などにきめ細やかな配慮をして披露して下さることが、素晴らしいと感じています。
- ◇ ボランティア紹介の取り組みが、障がい理解に貢献できること嬉しく思います。



4 実行委員会からの応援メッセージ

- みんなを笑顔にする活動を長く続けていただきたいと心から思います。笑顔大賞にぴったりな方と感じました。もっともっと、笑顔にしてください。
- バルーンアートは、利用者の皆さんの笑顔を引き出すそんな魔法の力があるのでしょう。これからもずっと頑張っていたきたいと思います。
- 障がい者の支援は、単に生活面の支援だけでなく、このように様々な感情を引き出すような活動も大事な要素だと感じました。
- 笑顔、笑顔の楽しいバルーンアートで幸せをありがとうございました。

■ 作品の一部(Instagramから)



笑顔大賞

大田区非公認キャラクター

大根ちゃま

大田区立志茂田福祉センター 訪問

1 活動団体

大田区非公認キャラクター 大根ちゃま

2 取組の内容

令和5年9月20日(水)

大田区の福祉に関心をもった大根ちゃまは、障がい者通所施設が、どのようなところなのかを知りたいと思い、大田区公式キャラクターはねびょんと一緒に、志茂田福祉センターの自主生産品を販売している「しもだや」のボランティアに参加しました。

志茂田福祉センターの利用者と一緒に「しもだや」でパンなどを販売しました。食パン、バターロールパンは、あっという間に完売しました。

「しもだや」の閉店後は、企業等から受注した軽作業に真剣に取り組む利用者と交流し、施設長から、知的障がいのある人の日々の生活の様子を教えてくださいました。

また、近隣の保育園の園児とも交流しました。

【しもだや】

毎週水曜日 11時～14時

大田区立志茂田福祉センター1階
で美味しいパン、ラスク、ハーブティーなど様々な自主生産品を販売しています。



【大根ちゃまプロフィール】

7月13日生まれ。

大田区非公認ご当地キャラクター。

大田市場で売られそうになったところを危機一髪、逃げだしたものの、街や人、飛行機が行き交う大田区が好き過ぎてウロウロと大田区から離れられずにいる。

逃げるどころか、もはや「大」田区に「根」を張る大根になりつつある。



3 活動を通して

大田区手をつなぐ育成会からのメッセージ

◇ 大田区手をつなぐ育成会は、心のバリアフリーすすめ隊による理解啓発活動を進めています。今回は間接的な理解啓発活動として、大根ちゃまと志茂田福祉センターをつなぐ役割を担いました。

今回実現した大根ちゃまの訪問は、利用者、近隣保育園児、地域の皆さま、大根ちゃまのファンの皆さまとの心温まる交流が生まれました。

障がいのある人となない人が、大根ちゃまを中心に共に楽しいひと時を過ごし、みんなが笑顔になりました。これこそが共生社会のめざすところです。今回の活動は、大田区手をつなぐ育成会の働きかけに、大根ちゃまと志茂田福祉センターが快く理解を示し、協力をいただいたことで成り立ちました。障がいのある人となない人の心を結びつけた地域活動となりました。

大根ちゃまと福祉の交流が広がることを願っています。

大根ちゃまからのメッセージ

◇ 大根ちゃまの使命は、みんなを笑顔にすることちゃま。笑顔にする自信はあったが、初めての志茂田福祉センターでのボランティアで、ドキドキだったちゃま。

利用者みんなが、大根ちゃまを仲間に入れてくれて感謝ちゃま。

みんなの笑顔がとてうれしかったちゃま。

大根ちゃまへのお仕事依頼は
daikonchama@gmail.com
をお願いします。



4 実行委員会からの応援メッセージ

- 大田区に根を張る大根ちゃまが、福祉に関心を持ちボランティア活動を行ってくださることに感激です。今後も、大田区の障がい者施設でお会いできると嬉しいです！
- もっと知っていただけるように色々なイベントに来て欲しいです。私も大根ちゃまが大好きです。
- ネーミングがとてもかわいらしくて一度聞いたら忘れられません。活動内容を知ってますます応援したくなりました。これからも大田区の色んな場所でご活躍していただくことを期待しています。
- 新しいキャラクターを使う活動は、理解啓発において、新たな理解を生む活動です。これからの活動を応援しています。
- 大根は、どんな料理も引き立てる！こどもや障がい者に大人気の「大根ちゃま」！共生社会の実現を、引き立てていただけるようお願いします。

■ 訪問時の様子



■ 保育園の園児と



©大田区

■ 作業のお手伝い



笑顔大賞

夏休み自由研究 ～ユニバーサルデザイン調査隊～

1 活動団体

大田区立東糀谷小学校 ユニバーサルデザイン調査隊

伊藤 凜(5年) 尾花 優莉(5年) 伊藤 那南(3年)



2 取組の内容

©大田区

令和5年7月26日(水)

夏休みの自由研究に、大田区のユニバーサルデザインを調べるため、障がい者総合サポートセンター「さぽーとぴあ」を見学してお話を聞きました。

なぜ見学しようと思ったかという、福祉の仕事をしている伊藤姉妹の父から、さぽーとぴあという施設のユニバーサルデザインが充実していると聞き、見学してみたいと思ったからです。

学校の授業で習ったユニバーサルデザインが大田区ではどうなっているか、知りたいと思いました。

また、障がいがある人がどのように生活しているかにも興味があり、共同研究で調べようと思いました。

研究報告書は、P14

3 活動を通して

ユニバーサルデザイン調査隊からのメッセージ

学校や保育園にユニバーサルデザインがもっとあったら、先生も子どもたちも、もっと過ごしやすいし、預ける保護者も安心できると思います。

「さぽーとぴあ」のように、利用する人も介助する人も快適に過ごせる場所はとてもいいと思います。まち全体にユニバーサルデザインが増えて、暮らしやすいまちになっていったらいいなと思いました。これからもユニバーサルデザインについて意識していきたいです。

東糀谷小学校 5年担任 吉田祐希先生からのメッセージ

大田区の施設には、多くのユニバーサルデザインが意識されて使用されていることが、凜さんと優莉さんのレポートから分かりました。2人(と3年生の那南さん)が調べたことは、障がいの有無、年齢、性別等に関わらず、どんな所でも活かしていけるものだと思います。

5年生の誰よりもユニバーサルデザインについて知ることができた二人は、これからの生活の中で、様々な人たちの困りごとに気付くことができると思います。学校生活だけでなく、普段の生活でも様々なアイデアを出し、困っている人への手助けができるはずです。

まずは、東糀谷小学校のユニバーサルデザイン化の推進をし、これからの学校をより良くしていきましょう！ ゆくゆくは、東糀谷のまち、そして大田区、そこから東京と、どんどん世界を広げて行ってほしいと思います。

将来二人が、大きな舞台で先頭に立って活躍している姿を期待しています！

東糀谷小学校 3年担任 奥山未来先生からのメッセージ

「誰もが安心して快適に過ごせるまち」を実現するために、様々な所でユニバーサルデザインが採用されています。ユニバーサルデザインが充実していくなかで、この研究からどんな物が使いやすく、どういった行動が周りを幸せにするのか学ぶことができたのだと思いました。

感想の中で「先生たちが細かい安全面にとっても気を付けていたということを感じた」とありました。実際に経験しなければ分からなかったことに気づき、ユニバーサルデザインをどのような所で必要としているのか深く考えることができたから出てきた言葉だと思えます。今回の経験を学校生活にも活かして行ってほしいと思います。

障がい者総合サポートセンターからのメッセージ

小学生が、自由研究で障がい者総合サポートセンターに来ることは初めてでした。こうした見学者が増えることは、障がい理解につながると感じています。

ユニバーサルデザインのある施設を見学することで障がい者への思いやりや困っている方への気持ちなどの理解に繋がると思います。

4 実行委員会からの応援メッセージ

- 素敵なお三人組！ やさしいまちを創っていきましょうね。
- 小学生が関心をもってユニバーサルデザインのある施設を深く知ろうとすることは、障がい理解につながっていきます。素晴らしいの一言です。
- 夏休みの自由研究、何を題材にするか悩むところですね。大田区のユニバーサルデザインに興味をもっていただけるなんて、すごくうれしいです。
- 地域の小学生が、地域の事を知るこの子達が、10年後、20年後の大田区が誰もが取り残されない社会を作ってくれる小さな息吹になってくれたら良いと思いました。
- 今回の調査隊の自由研究を通して、将来、心のバリアフリーを実現してください。

■ 障がい者総合サポートセンター見学時の様子



研究結果報告書

1 そもそもユニバーサルデザインとは？

大田区では、ユニバーサルデザインについて次のように定めています。

- ◇ 「あらかじめ障がいの有無、年齢、性別、国籍等に関わらず、多様な人々が利用しやすいように考えて、都市や生活環境をデザインすること」
- ◇ 「やさしさが広がり、誰もが安心して快適に過ごせるまち おおた」

・ユニバーサルデザインの7原則

1	公平性	だれにでも公平に利用できる ♡ 手すり、スロープ
2	柔軟性	利用者に応じた使い方ができる ♡ 多機能トイレは自分の状態に合わせて誰でも使用OK
3	単純性と直感性	使い方が簡単ですぐにわかる ♡ エレベーターのボタン
4	認知性	必要な情報がすぐに理解できる ♡ アナウンス、多言語、看板、ディスプレイ
5	安全性	使い方を間違えても重大な結果にならない ♡ 駅のホームドアは、目の不自由な人やよっぽらいが落ちないようにする
6	効率性	少ない力でも楽に使用できる ♡ センサー式の蛇口、消毒液
7	快適性	使いやすいスペースと大きさを確保する ♡ 幅の広い改札口、エレベーターが広く作られているなど

[バリアフリー]

特定の人にとって障害となるものを取り除き、利用できる状態にすること

[ユニバーサルデザイン]

誰もが、より使いやすいものや施設・サービス等を生み出していくこと

2 さぼーとぴあには、どんなユニバーサルデザインがあるか？

□1 段差の低い点字ブロック

ブロックの段差が平たくなっていて段差が低く、視覚障がいの人や車いすの人、両方が使いやすくなっているそうです。実際に車いすに乗って点字ブロックの上を移動する体験もさせてもらおうと、確かに段差が少なく感じ、押す方も楽に車いすを押すことができました。

□2 多機能トイレ

誰でも使える、分かりやすい、車いすの人と介助の人が入れるよう広がっています。

□3 声の図書館

拡大読書器、ディズニーランドの点字案内と音声案内、点字の地球儀、点字の本など、点字や音声で楽しめるものがたくさんありました。



- 4 パトライト(光で火災を知らせるランプ)
火事の際に、耳が聞こえない人にはサイレンも聞こえないので便利だと思います。
- 5 自動販売機
車いすの人でも押しやすいボタンが下についていたり、小銭を落とさないよう受け皿がついていていいと思いました。
飲み物一つ一つに点字シールがついていました。
- 6 エレベーターのボタン
ボタンが大きくて、押しやすく見やすいと思いました。
- 7 放課後デイサービス、ショートステイの宿泊室、シャワー室などには、新しい設備がたくさん備わっていました。
- 8 難しい字が読めない人でも、ピクトグラムがあれば、どこに何があるかが分かりました。とにかくきれいで、初めて見るものも多かったです。

3 研究から学んだこと

「さぼーとぴあ」では、予想以上にユニバーサルデザインが多くてびっくりしました。使いやすく、利用しやすいものがとても多いことを実感しました。

いろいろな人が快適に使えるものが増えているということも「すごいなあ」と思いました。

私たち3人は、大田区社会福祉協議会の「2023 体験！夏ボランティア」にも申し込んで「さぼーとぴあ」の見学をしたあと、保育園でボランティアの体験をしました。自分たちが卒園した大田区内のなかよし保育園で3日間、こどものお世話をさせていただきました。保育園は建物が古く、段差や階段など危険な場所もあります。

ユニバーサルデザインを探してみると、私たちには手すりくらいしか見つけられませんでした。そんななか、先生は、こどもたちのことをいつもよく観察していて、常に安全に気を配っていると気付きました。保育ボランティアは楽しかったけれど、とても疲れたし、先生たちが苦勞していることを知りました。

なぜ、先生が苦勞しているかということ、建物が古いなりに、先生たちが細かい安全面にとっても気を付けていたということを感じたからです。保育園は0～5歳児と色々な年齢の子が一日中過ごす場所であり、外国人で日本語が話せないこどももいました。私たちも実際にこどもの保育をする立場になってみて、こどもから目を離さないなど、声掛けや気配りが大事であると感じました。

自分たちが通う東糀谷小学校では、スロープが玄関にあるけれどエレベーターはないし、玄関には階段や段差もたくさんあります。みんなが集まる体育館は3階にあり、図書室は4階にあります。車いすの人は、先生がおんぶしているのを見たことがあります。

「さぼーとぴあ」のように、利用する人も介助する人も快適に過ごせる場所はとてもいいと思います。まち全体にユニバーサルデザインが増えて、暮らしやすいまちになっていったらいいなと思いました。これからもユニバーサルデザインについて意識していきたいです。



©大田区



障がい者総合サポートセンター

障がい者総合サポートセンター(通称:さぽーとぴあ)は、障がい者の暮らしを総合的に支える拠点施設として、平成 27 年 3 月にオープンし事業を開始しました。

開設以降、障がい者の自立及び社会参加を促進し、障がいのある人もない人も共に支えあう「共生社会」の実現を目指して、相談支援事業、居住支援事業、地域交流支援事業、就労支援事業、人材育成事業、施設の貸出し等の事業を進めてきました。

平成31年3月には、B棟がオープンし、短期入所事業や放課後等デイサービス事業等を実施しています。



まごめ幸陽祭への協力 ～和太鼓演奏～

笑顔大賞

1 活動団体

大田区立貝塚中学校 民舞和太鼓部

2 取組の内容

令和5年9月23日（土）

貝塚中学校民舞和太鼓部は、平成16年の創部以来、本校が地域の学校であるという精神を体現する活動を続けてきました。今年度も部員は、自分たちなりの工夫を加えながら部の伝統を継承し、生き生きと活動しています。

まごめ幸陽祭への出演のほか、地域の町会から要請を受け、盆踊りや和太鼓演奏などを行いました。

3 活動を通して

大田区立貝塚中学校 民舞和太鼓部からのメッセージ

民舞和太鼓部の活動は、毎日の地道な練習に支えられています。

新曲をマスターするのも、得意な曲に磨きをかけるのも、学校での練習時間に行います。運動部が伸び伸びと体育館を使うのを横目に、民舞和太鼓部は体育館廊下の隅で稽古を続けています。

まごめ園からのメッセージ

毎年9月に幸陽祭を開催しており今年で30回目を迎えました。©大田区

毎回、地域の小中学校の児童生徒によるステージを実施し、活躍の場を創出するとともに地域交流の場、障がい理解を深める機会となっています。

貝塚中学校民舞和太鼓部の皆さまには、現在のみごめ園になってから6回程参加いただいています。まごめ園利用者も、一般のお客様も毎年楽しみにしています。

コロナ禍のため4年ぶりに、体の芯に響く迫力ある演舞を披露いただき、大変盛り上げていただきました



4 実行委員会からの応援メッセージ

- 障がい者施設のおまつりは、地域との交流にとっても大切な行事になっています。若い世代に地域で生きる障がい者への理解が深まることを願ってやみません。
- 民舞和太鼓を通じ、まごめ園との交流、地域交流、障がい理解の向上には、若い学生さんの力は大きいと感じます。

- 地域の中学生が、和太鼓を通じて、地域の伝統を受け継ぎながら、共生社会へ向けた新しいつながりをしている、そんなところが素敵だと思いました。
- 和太鼓の迫力でコロナ禍も吹っ飛びました。共生社会実現に向けて、これからも心に響く和太鼓を届けてください。

■ まごめ幸陽祭での発表の様子



笑顔大賞

ともに楽しむボランティア活動 ～いきいき祭り(うめのき園) ふれあい祭り(しいのき園)～

1 活動団体

東京都立つばさ総合高等学校 つばさ PASTA ハートフル

2 取組の内容

【つばさ PASTA とは】

つばさ総合高等学校 保護者(Parents)と生徒(Students)と教職員(Teachers)の会(Association)の略です。

つばさ PASTA のセクションの一つであるハートフルでは、ボランティア活動を通じて、地域参加・社会貢献の意識を育む活動をしています。



©大田区

つばさ PASTA ハートフルは、学校近隣地域の福祉施設の夏祭りにボランティアとして参加しています。

令和5年度は、大田区立うめのき園と大田区立しいのき園の2施設で、生徒18名、保護者12名がボランティアとしてお手伝いし、お祭りを盛り上げました。

つばさ PASTA ハートフルは、活動させていただく施設側との連携を取りながら、学校内でボランティア参加のきっかけを提供しています。ボランティア参加者は、施設利用者さんや職員さん、お祭りに訪れた地域の方々と関わり、楽しみながら、地域社会の一員として貢献できるということを学んでいます。

うめのき園「ゴミステーション」



しいのき園「夏祭り体験コーナー」



3 活動を通して

うめのき園からのメッセージ

人と人の繋がりで、約 20 年前に、つばさ総合高等学校とうめのき園との繋がりができ「いきいき祭り」にボランティアとして参加していただいています。皆さまの明るさや活気により、園祭を盛り上げていただき、大変ありがたく思っています。

しいのき園からのメッセージ

つばさ総合高等学校の学生の皆さんがボランティアとして、参加してくださることは、障がい理解の啓発に繋がっています。

つばさPASTA ハートフルからのメッセージ

(つばさPASTA ハートフル担当者)

- ◇ 通常、高校生は障がいのある方々とのふれあう機会がもてないので、大変良い機会であり、良い経験だと思います。これからも続いて欲しい活動だと思います。障がいのある方をあたたかく見守る心が養われることを願います。
- ◇ 今年度はコロナ禍が明けたばかりで手探りでの活動でしたが、思った以上に施設の方々喜んでくださり、生徒も初めての経験で不慣れながらも楽しく活動出来ました。これからも地域に根差した活動を行えればと思います。

(生徒ボランティア参加者・2 年生)

- ◇ 来場した人たちの楽しそうな様子や、施設の人たちからお礼の言葉をもらえて、とても幸せな気分になりました。ボランティアには友達も参加していてとても楽しい1日でした。参加して良かったです。ありがとうございました。

(生徒ボランティア参加者・1 年生)

- ◇ 利用者さんも地域のお子さんも楽しそうにしている、フレンドリーであたたかい気持ちになりました。

(生徒ボランティア参加者・3 年生)

- ◇ 今回初めてボランティアに参加しましたが、利用者さんたちが楽しんでいるのが嬉しかったです。これからもこのような活動に積極的に参加したいと思います。

(学校教職員)

- ◇ つばさ総合高等学校のボランティア活動は、一期生の課題研究の時間に「実際の現場と関わりたい」という生徒の強い希望で、施設見学や授産作業と一緒に体験させていただくことからスタートしました。その後、福祉部を中心に夏祭りのお手伝いをさせていただき、徐々につばさPASTAがボランティアを斡旋する今のかたちに変わりながら、約20年間活動は続いています。

4 実行委員会からの応援メッセージ

- 地域の一員として共同で何かに取り組む経験は、相互理解と暮らしやすいまちづくりの第一歩です。20年ものこの絆が続いていることに感銘を受けました。
- 「ともに楽しむ」ことはお互いを理解する大きな一歩になりますね。これからも一緒に活動しましょう。
- 学生のボランティア活動は大きな力です。コロナ禍でボランティア精神のモチベーションが下がったと聞いていますが、いえいえ、まだまだ大丈夫！施設や利用者と楽しんでボランティア活動をしてくださる皆さんに感謝しています。
- とともに楽しむ精神は重要だと思います。長く続けてください。
- 人と人を繋ぐボランティア活動で、地域に人と人との輪をつくってください。

■ 打ち水と活動の様子



笑顔大賞

JAL スカイ ～スカーフの加エプロジェクト～

1 活動団体

株式会社 JAL スカイ

2 取組の内容

株式会社 JAL スカイの SDGsの取組

【JAL スカイ スカーフの加エプロジェクトとは】
日本航空空港係員に配布された東京オリンピック仕様の
スカーフのリメイク



スカーフのリメイクを、おおむすび連絡会の事務局に調整いただき、就労継続支援B型事業所の樹林館に発注しました。スカーフは、407 個の素敵なポーチ等に生まれ変わりました。

また、スカーフのリメイクと一緒におおむすびのクッキーも購入しました。

3 活動を通して

おおむすび連絡会からのメッセージ

- ◇ 事務局からスカーフとともに焼菓子の購入をご提案させていただきました。
- ◇ SDGsに率先して取組んでいる大田区にとっても、とてもやりがいのある仕事となりました。
- ◇ 新空港を有する唯一の23区である大田区として、参加できたことは、とてもありがたいお話でした。
- ◇ 世界に羽ばたく JAL 職員の方に、おおむすびの PR をすることができました。
- ◇ リメイクという新たなビジネスモデルを構築できたのは、大きな収穫となりました。

株式会社 JAL スカイからのメッセージ

- ◇ このたびは、大変名誉ある賞をいただき、誠にありがとうございます。
ステキなポーチを作っていただき、おいしいクッキーとともに社員からも大好評でした。
私たち JAL スカイはこれからも、羽田空港を通じて大田区の皆さまとともに大田区を盛り上げる活動をしていけたらと思います。



4 実行委員会からの応援メッセージ

- 大田区にある企業様の参加はとても励みになります。企業ならではの強みを生かしていただきありがとうございます。
- JALという大手の企業が、羽田空港のある大田区で、地道に障がい理解に携わってくださることは、私たちの活動の励みにもなり、とても素敵なことだと思いました。
- SDGs の取組みを通じたプロジェクトへの参画を高く評価します。
- 「スカーフのリメイク」と「おおむすびのPR」、意外性のある発想のSDGsの取組みは、新たなビジネスモデルを感じました。
- オリンピック仕様のスカーフのリメイクは、まさに金メダルのアイデアです。

■ 日本航空空港係員の皆さまとリメイク商品



はねびん

■ リメイク商品



「おおむすび」の周知・自主生産品の購入・販売会実施への協力

1 活動団体

第一生命保険株式会社 品川支社

2 取組の内容

第一生命保険(株)品川支社では、地域貢献の一環としておおむすびを色々な形で応援しています。

(1) 顧客様への配布品としておおむすび商品を採用

- ◇令和4年度 バスボム、革のしおり、ノート
- ◇令和5年度 「小さな村g7商品」

小さな村g7商品については、P 4



©大田区

(2) 顧客訪問等の際に、チラシを配布し「おおむすび」のPRに協力

(3) 支社内で社員及び顧客様を対象に「おおむすび商品」の販売会を実施

おおむすびについては、P 35

3 活動を通して

おおむすび連絡会からのメッセージ

- ◇ おおむすびのPR活動の一環として、大変役立っています。
- ◇ おおむすび商品の理解に役立っています。
- ◇ 施設利用者も一緒に販売会に参加し、モチベーションアップにも繋がっています。
- ◇ 利用者の工賃向上及び社会参加に寄与いただいています。

第一生命保険(株)品川支社からのメッセージ

- ◇ 今後も「おおむすび商品の購入・定期的な販売会」で、地域貢献していきたいと考えています。
また、新たな連携についても模索していきたいと考えています。



はねぴよん

4 実行委員会からの応援メッセージ

- 自主生産品の PR ありがとうございます。心を込めて作った品物をより多くの方に知っていただく機会をつくっていただき感謝いたします
- 地域社会への貢献活動に尽力されていることが、素晴らしいと感じます。これからも社会参加の架け橋となる活動を続けていただくことを願っています。
- おおむすび商品の認知度の向上に貢献し、なおかつ定期的に販売会を実施して下さることに感謝しています。
- おおむすび商品は、施設利用者が一生懸命作ったものです。多くの区民の皆さまに知っていただきたいと考えています。配布品としてご利用いただけるのはとてもありがたいことです。
- 地域の方達とつながっている保険外交員の方を通じて、おおむすび商品の配布を行うことは、障がいの理解啓発に繋がりが素敵なことだと感じました。

■ 社内 広報誌から

Shinagawa Supporter's Report 2022年7月特別号
第一生命保険株式会社品川支社

今月の TOPICS 第一生命品川支社では、品川区・大田区の社会福祉協議会をはじめ、地域自治体と様々なボランティア活動で協働しております。地域に根差す企業として地域の皆さまとのつながりを大切に、地域の課題解決に貢献してまいります。今月は大田区生産活動支援施設連絡会さまと協働し、下記の日用雑貨をお届けさせていただきます。

おおた生産連より
(大田区生産活動支援施設連絡会)

『おおむすび』とは、大田区内にある障がい者施設が連携して、施設利用者の工賃向上・社会参加を目指す取り組みのことです。「(お)大田区」の「(お)お客様に」障がい者施設の自主生産品等を「(お)お気に入り」としていただき、未永くご愛顧いただきたいという想いを込めて3つの「(お)」と縁起の良い水引きの「結ぶ」をイメージして作成しております。

第一生命品川支社は地域社会貢献活動に尽力されており、大田区社会福祉協議会をはじめ、**おおむすび**のチラシ配布や社員様向けの販売会を開催させていただいており、**おおむすび**をご愛顧いただき、工賃向上にお力添えいただいております。

令和4年度は30施設（就労継続支援B型事業所・生活介護事業所・就労移行支援事業所）が加盟しており、連携をしています。具体的には、
①軽作業の受注（お掃除、ポスティング、シール貼り等の軽作業）
②自主生産品の注文販売（各施設で作られた焼菓子や雑貨等の注文）
③区内商業施設やイベント等での出張販売（アクセサリーやバッグ等の雑貨を含め、販売会の開催）をお受けしています。

今回お届けするバスボムと革のしおりについてご説明いたします。

【バスボム】大田区立大森東福祉園（生活介護事業所）
大田区大森東にある障害者福祉施設です。作業活動の一環で、バスボムや陶芸（箸置き、皿等）の生産を行っています。利用者さんは、得意なことを分担しながら、作業に取り組んでいます。役割を担うこと、社会とつながることが、やる気や自信につながっています。今回お届けする『バスボム』は、材料の計量、成形、ラッピング…それぞれの作業工程を分担しながら、心を込めて、皆様に気持ちよく使っていただける商品作りを心掛けています。素敵なバスボムをお過してください。

【革のしおり】上池台障害者福祉会館（就労継続支援B型事業所）
上池台障害者福祉会館は、大田区上池台にある障害者福祉施設です。革のしおりは、利用者がひとつひとつ丁寧に染め上げたものです。段々と色合いと柔らかさが変わっていきますので、永く御愛用していただければ幸いです。ペン立てやブックカバー、小銭入れなど革製品を多数ご用意しております。ぜひお試しください。

【問合せ先】おおむすび連絡会事務局
(大田区立志茂田福祉センター管理係)
☎03(3734)0763

 ©大田区

■ おおむすびセット



にっこり大賞

ペアダンス ～社会参加と健康推進～

1 活動団体

ペアダンスの会 明友会

2 取組の内容

視覚障がい者の会員を中心に、社会参加及び健康推進と、参加者相互の親睦を深めるための活動を行っています。会員は、視覚障がい者とシニア会員(ダンスのサポート)とガイドヘルパーで構成しています。

(1) 主な活動場所等

活動場所:大田区立障がい者総合サポートセンター(さぼーとぴあ)又は新井宿会館

練習日:毎週月曜日 10:00から12:00まで

受講料:1回 300円

ストレッチ体操とペアダンス(アメリカンスタイル社交ダンス)

(2) 外部活動等

◇発表、交流の場

講師主催 JSDC のダンスパーティーでの発表(年に1回)

◇その他の活動

平成 31 年 1 月	NHK ラジオ第二「視覚障害ナビ・ラジオ」の取材
令和 4 年 10 月	ヨコハマ SDGs文化祭へのデモンストレーション
令和 5 年 9月 11 日	NPO 法人 目と心の相談室「ペアダンス体験会」
令和 5 年 12 月 2 日	町田まちカフェ

3 活動を通して

もっと多くの地元大田区民の方にも参加いただきたいと希望しています。
視覚障がいの状況の違いや障がい者手帳をお持ちでない方(所属団体の無い方)等、
様々な立場の違いを越え、ダンスを通して心身への好循環をめざし活動しています。



©大田区

■ 練習の様子

ペアダンスをやってみようかな、と思う方への一言メッセージ

- ◇ 視覚に障がいのある方から一言
 - ・ダンスに参加することで、動かせる身体を保てます。
 - ・慣れるまでは、続けることが大切！
 - ・以前はよく脚をつっていたが、今はなくなりました。
 - ・毎日が楽しくなりました。気が付いたら、ステップを踏んでいることがあります。
 - ・眼が悪くなってから前屈み姿勢になっていましたが、ストレッチでバランスが良くなり太りにくくなりました。
- ◇ サポートメンバーから一言
 - ・この教室に来てから姿勢を常に気にするようになり、歩幅が大きくなりました。
 - ・背が伸びました。
 - ・病気でしばらく休んでいたサポーターが、ペアダンスを再開し体力と笑顔が戻って嬉しそうです。
 - ・激しい動きもなく、楽しく踊っています。
 - ・障がいのある人たちと心を合わせ活動することで、たくさんの気づきがあります。
 - ・バリアフリーの場を楽しめています。

- ◇ 活動詳細: 明友会ホームページアドレス

<https://meiyukai-dance.jimdosite.com>

- ◇ 視覚障がい者の参加者を募集しています。

ダンス経験のあるシニアボランティアメンバーも楽しんでサポートしています。
一人で参加できます。(ガイドヘルパーと一緒に大丈夫です)



4 実行委員会からの応援メッセージ

- 誰もが、趣味や交流の時間をもつことは、とても重要なことで、視覚障がいの方がいきいきとできるダンスサークルを様々な会員で構成されていることがとても素敵だと思いました。
- バランスが良くなったり、姿勢が良くなったりと良いことづくしですね。障がいのある人もない人も一緒に楽しめるなんて素敵です。
- 障がいの有無にかかわらず、“ふれあう”ことは安心感が生まれます。障がい者の社会参加の架け橋となる活動をこれからも期待しています。
- これからも、自分も周りの人も「にっこり」できるように活動しましょうね。

■ 新井宿地区 福祉と文化と医療のまちのスペシャルデー 参加時の様子



■ デモンストレーションの様子

みんなで楽しく 合唱サークル

にっこり大賞

1 活動団体

コール大田

2 取組の内容

視覚障がい者を中心とした初心者向け合唱サークルです。
現在、約 13 名中、視覚障がい者7名で活動しています。
活動をはじめて約 25 年になります。

(1) 主な活動場所

東京都障害者福祉会館(所在地:港区)
原則として毎週水曜日
13:30から15:30まで

(2) 会費 月1,500円

(3) 講師 笈川 郁子先生

(4) 発表会

年2回合唱祭に参加しています。

◇ 大田区民合唱連盟「コーラス・フェスティバル」

令和 5 年 7 月 1 日(土)

大田区アプリコ大ホール

発表曲:むこうむこう、君にのせて、岬めぐり

◇ 大田区文化祭

令和 5 年 12 月 3 日(日)

大田区アプリコ大ホール



3 活動を通して

会員からのメッセージ

- ◇ 「故郷」を歌の「思いいずる故郷」の時など「ニコッ」とした顔で皆さんの共感を受けるようになどのご指導が楽しいです。
- ◇ 声を出すことは、健康に良いので楽しく参加しています。
- ◇ ハーモニカで参加しています。歌との調和で心が豊かになります。歌との合奏に心がけています。



©大田区

- ◇ 現在92歳、歳に負けず元気に楽しく参加しています。
- ◇ 遠方(埼玉)から参加ですが、楽しいので休まず頑張っています。

笈川先生の方からのメッセージ

- ◇ コロナ禍で活動が思うようにできなかった日々でしたが、みんなで歌えることに幸せを感じています

会のモットー

障がいの種別に関係なく、障がいのあるなしではなく、上手・下手ではなく、歌が大好きな方々と一緒に活動ができることを希望しています。



◇ 会員募集

一緒に楽しく歌いませんか。
 どなたでも大歓迎です。
 視覚障がいの方、違う障がいのある方、障がいのない方
 歌が上手な方、自信のない方
 どなたでもどうぞ！楽しく歌いましょう。

■ 発表会の様子



4 実行委員会からの応援メッセージ

- 歌の好きな方々が合唱という形で自身も楽しみ、そして発表会として合唱祭に参加されている活動に心から「にっこり」いたします。
- 合唱は楽しいです。若々しい声が聞こえてきそうです。
- 障がいのある方、ない方、関係者が協力し、今後ますますの発展を期待しています。
- 歌が好き！好きなことを一生懸命にやる。人生で一番大事なことを教えてくれました。
- 「みんな」と「たのしく」は素敵なキーワードです。これからも素敵なハーモニーを奏でましょう。

聴覚障がいの理解啓発活動

1 活動団体

大田区聴覚障害者協会



2 取組の内容

©大田区

◇ 聴覚障がいの理解啓発

小中学校の総合学習、聴覚障がい者の理解啓発講座、大田区手話講習会に講師を派遣して理解啓発を行っています。

また、当協会の要望を行政に伝え賛同をいただき、9月23日の「手話言語の国際デー」には、大田区役所と羽田イノベーションシティでブルーライトアップとスライド動画投影が実施されました。

◇ 防災活動

大田区自立支援協議会の防災部会のメンバーとして災害時の要援護者支援について話し合っています。

また、関係団体とともに聴覚障害者災害対策委員会を立ち上げ、命を守るための防災マニュアルを作り、福祉部各課との懇談を続けています。

◇ 「ヒゲの校長」の上映会

手話とろう者を命がけで守った歴史を後世に引き継ぐため、大正から昭和にかけて、ろう教育の中で手話を守り抜いた教師の物語「ヒゲの校長」の上映会を11月に開催しました。

【上映日】 令和5年11月22日(水)

【上映回】 第1部 14:30～(受付 14:00) こちらから申込み受付
第2部 19:00～(受付 18:30)

【場 所】 カムカム新蒲田 多目的室(大)

定員/各館450名(合計900名)

【チケット】 大人(高校生以上) ¥1,000 中学生 ¥500

※未就学児はご遠慮ください

カムカム新蒲田は劇場が非常に狭いので公共交通機関を利用してお越しください。皆様のご協力をお願いします。

主催: 大田区聴覚障害者協会 FAX番号: 03-6743-9773 メールアドレス: 2021@tda.dns@gmail.com
協力: 大田区聴覚手話通訳者会・手話サークル大田 100 大田区手話サークル・市田手話サークル

■「ヒゲの校長」上映会ポスター

3 活動を通して

大田区聴覚障害者協会からのメッセージ

◇ これからも地域の仲間と協力しあって、にっこり笑顔で活動を続けていきたいと思っています。

4 実行委員会からの応援メッセージ

- 手話講習会で理解啓発を行っていること、防災活動にも力を入れていらっしゃる、手話は確実に身近なものになっていると感じます。
- 小中学校の総合学習などは、これからの担うこどもたちにとっても理解啓発につながる大切な授業だと思います。
- 聴覚障がい者の方たちが、自ら率先して自分たちのことを発信し理解啓発に努めていることは、とても素敵なことだと思いました。お互いの理解は「誰もが暮らしやすいまちづくり」の重要な要素です。

■ 福祉講座の様子



■ サロン会の様子



■ 高齢者のつどいの様子



■ 手話言語の国際デー ライトアップ



にっこり大賞

手遊びの会 ～地域の居場所づくり～

1 活動団体

大田区精神障害者家族連絡会 有志

2 取組の内容

地域の中の居場所として、会話をしながら、折り紙・お絵かき・工作などを月1回実施しています。

無心で取組むことで落ち着く時間が、心穏やかになり、指先を使うことは、頭脳が活性化されます。

(1) 主な活動場所

コミュニティスペースにしかまた

(2) 活動日

原則として毎月最終木曜日 13:30 から 15:30 まで

(3) 参加費

作品作成のための実費

(4) 参加者

地域の高齢者、小学生や精神障がいがあってもなくても参加できます。



3 活動を通して

会員からのメッセージ

- ◇ こうした交流から、精神障がいの方を理解いただくきっかけになるようにと願っています。
- ◇ ほんの少し勇気を出して、足を運んでください。きっと、心が開けます。
- ◇ 毎回、何をするか考えることも、楽しく思えます。
- ◇ ずっと引きこもっていましたが、勇気を出して行ってよかった。
- ◇ 作品は会場に展示されますので、来店された方の感想などを聞くことができます。

精神障がい者も、そうでない方も安心して立ち寄れる地域の居場所でありたいと思っています。

精神障がいは、だれでもなる可能性があります。
小さな活動から、精神障がいの理解と悩んでいる方の力に少しでもなれるようこれからもこの活動は、続けていきたいと思えます。

4 実行委員会からの応援メッセージ

- 地域に人の温もりを感じる居場所があることは、精神障がい者のみならず、誰もが必要とする場所です。一緒に過ごすことで理解啓発に繋がっていくことを期待します。
- 無心で取り組むことで落ち着く時間が、心穏やかになりますね。
私も心がざわつくとき、指先を使って何かを作っています。とても大事な取り組みです。
- 外見ではわからない障がい。これからも、みんなが寄り添った活動ができますように。
- 人と人が繋がり、障がい理解も深まる活動で、安心できる居場所の創出は、地域の灯となるでしょう。応援しています。
- こもってはいけない。理解してくれる方は必ずいます。共生の気持ちです。
- 安心できる、ゆったりできる「居場所」はとても大切です。身近な地域に作っていきましょう。

■ 作成の様子



「おおむすび」

障がい者福祉施設の商品



「おおむすび」

このロゴマークには、「(お)大田区」の「(お)お客様」に私たちの商品を「(お)気に入りに」していただき、末永くご愛顧いただきたいという想いを込めて、3つの(お)と縁起の良い水引の「結ぶ」をイメージして作成しております。

平成28年度に大田区内障がい者福祉施設の商品(自主生産品)販売促進を図る観点から、多摩美術大学の学生とのコラボにより誕生したロゴマークです。

「おおむすび」と読みます。「大田区」の頭文字「O」の丸い形状から「O→円→縁」と、人と人のつながりのきっかけになるようにとの願いが込められています。

現在では、区内障がい者福祉施設利用者の工賃(給料)向上・社会参加を促進する取り組みを「おおむすび」と位置づけています。



障がい者福祉施設の商品(自主生産品)を

購入してみませんか

障がい者福祉施設では、様々な商品(自主生産品)を販売しています。

商品の販売収入から必要経費を引いた収益の全額が、利用者の方への工賃(給料)として支払われます。より多くの方から求められる商品を作ることで、利用者の工賃(給料)向上・社会参加を促進していきます。

利用者の手で一つ一つ丁寧に作られた商品を一度、手にお取りください。

商品の購入・販売に関するお問い合わせは、下記窓口にご連絡ください。

大田区生産活動支援施設連絡会(おおむすび連絡会)事務局

(大田区立志茂田福祉センター)

電話 :03-3734-0763

FAX :03-3734-0797



「エスカレータ歩かないで安心・安全」

エスカレータの乗り方をもう一度見直そう！ 区民への周知をしました。

◇実施日：令和5年11月1日（水）・2日（木）

◇場所：蒲田駅、大森駅、池上駅、京急蒲田駅

◇主催：特定非営利活動法人 大身連

エスカレータ歩かないで 安全・安心

エスカレータの乗り方
もう一度見直そう！

機器の故障にも
つながるよ！

町の人の声

私自身は小児まひで左手が不自由なため現在の左側に立ち、右側空けは、荷物を持った時など辛い事があります。

あわただしい社会の中でついついエスカレータのあいている右側をささと昇っている自分。又、かけているかばんがあたってしまった経験があります。健常者や急いでいる人はむしろ階段を利用すべきでしょう。日常に“ゆとり”をもてる社会を取り戻す「マナー」と「運動」をすべきです。私もその運動をすすめるひとになりたいと考えます。

大田区から正しいエスカレータマナーを発信し全国に広めていただきたいと思います。

片側を
空けない
エスカレータの
乗り方！

エスカレータは
手すりにつかまって
乗ろう！

歩くと危ない
エスカレータ

エスカレータは動いています。
杖が必要な人、けがをしている人、小さなお子さん連れの人、
みんなが安心して利用出来るようにほんの少しの思いやりを持ちませ

主催：特定非営利活動法人 大身連 共催：公益社団法人 東京都身体障害者団体連合会 後援：大田区
協力：大田区視覚障害者福祉協会、大田区肢体障害者福祉協会、大田区聴覚障害者協会

■ 周知活動の様子



おおた みんなのつどいプロジェクト表彰実施要綱

令和5年3月24日

おおた みんなのつどいプロジェクト実行委員会

(目的)

第1条 この要綱は、おおた みんなのつどいプロジェクトの取組の一つとして、障がい理解を取り入れた地域活動等（以下「地域活動」という。）を表彰すること（以下「表彰」という。）により、障害者基本法（昭和45年法律第84号）第7条に規定する地域社会における共生、差別の禁止等の基本原則に関する区民の関心及び理解が深まることを目的とする。

(事業内容)

第2条 表彰の対象となる地域活動は、障がいのある人もない人も笑顔になるものであり、かつ、大田区内の各地域において障がい理解を実践的に取り組んでいる内容とする。また、地域活動の内容は、広く周知できるものでなければならない。

(対象外の活動)

第3条 次に掲げる地域活動は、対象外とする。

- (1) 営利目的の活動
- (2) 宗教、政治活動

(応募資格)

第4条 大田区内で活動実績がある団体、企業等とする。

(応募方法)

第5条 応募は、「おおた みんなのつどいプロジェクト表彰応募用紙」（別記様式）に地域活動の内容を記入して提出するものとする。応募にあたっては、自薦他薦を問わない。ただし、他薦の場合、地域活動主体からの同意を得たものでなければならない。

- (1) 地域活動の実施前に応募する場合は、開催の案内等を添付すること。
- (2) 地域活動の実施後に応募する場合は、事業の案内、写真等実施したことがわかる資料を添付すること。ただし、応募及び写真の添付等について参加者等から同意を得なければならない。
- (3) 提出先 事務局（大田区福祉部障害福祉課）

(募集期間)

第6条 令和5年5月1日から令和5年9月30日までとする。

(審査、表彰)

第7条 応募のあった地域活動の中から「おおた みんなのつどいプロジェクト実行委員会」（以下「実行委員会」という。）で審査の上、先進的な取組などを障害者週間に表彰するものとする。

(その他)

第8条 その他必要な事項は、実行委員会が別に定める。

付 則

この要綱は、令和5年4月1日から施行する。



僕のとちだち
みんな
仲良し!



オーちゃん

みんな笑顔
になるぴよん



はねぴよん
©大田区

作: 志村 雅人

障がい者文化展出品作品

- 障がい者文化展
12月14日(木)から12月20日(水)
大田区立池上会館
1階展示ホール
(大田区池上1-32-8)

おおた みんなのつどいプロジェクト

実行委員会

令和5年12月